

「第1回まちづくり市民会議」議事要旨

○アドバイザー・事務局含め全45名中、36名参加

○以下、次第に即して記載

(1) 説明事項

①「まちづくり市民会議」について

別添「②説明事項資料」により説明

⇒特に意見無し

②まちづくり市民会議議長・副議長の選出について

別添「③市民会議設置要綱」第4条に基づき選出

⇒以下の者で決定

○議長：薄敬治氏 ※事務局提案による

(会津青年会議所副理事長・まちづくり市民会議発足準備会座長)

○副議長：後藤守江氏 ※自薦による

((一社)フルールドベリー事務局長・日本FP協会福島支部幹事)

③自治基本条例について

別添「②説明事項資料」により説明

⇒特に意見等無し

④まちづくり市民会議キックオフ・フォーラムの開催概要について

別添「②説明事項資料」により説明

⇒特に意見等無し

(2) 質疑応答等(第1回市民会議全体を通して)

【委員】

①市民会議の設置に向けて準備を進めてきたとのことだが、もう一度経緯を伺いたい。

⇒【事務局回答】

2000年以降の地方分権の大きな流れの中で、地方におけるまちづくりが国主導から地方主導へ転換がなされてきた。そうした流れを踏まえ、地方におけるまちづくりがどうあるべきか昨年中に学習会を開催し学んできた。そうした経過を踏まえ、より具体的に議論を深めていく場として市民会議を設置したところである。

②地域自立支援協議会における活動の中で、市の取組について毎年評価を行っている。その評価を踏まえて、例えば大町通りの歩道や鶴ヶ城が障がい者に利用しやすいものとなるようまちづくりの提言をしているが、行政として対応ができていないのではないかと感じる。市民会議の取組内容は行政から市民への責任転嫁をしているように感じる。

⇒【事務局回答】

担当課（障がい者支援課）で対応していると思われるが、どういった対応としているのか確認の上、次回改めて説明・回答することとしたい。

③会議の実施日時の設定について、働いている者への配慮をお願いしたい。

⇒【事務局回答】

本日提示した今後のスケジュールは、会場やアドバイザーの都合を踏まえ設定したものである。6月以降の市民会議開催スケジュールについては、委員の皆さんの意向を反映させるため次回市民会議において議題とし議論したい。

以上